

故郷

4 獄況の中で

別荘を去るために、二十五年
 必死に故郷を衝いた。私。だが
 そとで何年もかかるとなるとわりと
 てしまっていた。昔い思いて高
 の故郷を後にする「私」の心情
 を述べ、人白と海空までの肉切り
 について述べている。



上海にある魯迅像

確認する

全文を読んで、確かめる

1 「私」は、何年ぶりに故郷に帰ってきたのですか。

_____ 年ぶり。

2 何をするために帰ってきたのですか。文章中の言葉を書きなさい。

古い _____ の地へ引っ越すため。

3 107 ④「我が家」で出迎えてくれたのは、誰と誰ですか。

_____ と、 _____ になる甥の _____。

4 故郷で「私」が再会した幼なじみは誰ですか。

漢字

次の漢字の読み方を書きなさい。(○は新出漢字 ○は新出音訓)

1 ひっそり閑 10 塀 19 刹 27 仙人

2 紺碧 11 塗る 20 鍛錬 28 塑像

3 吟味 12 財布 21 凹凸 29 墮落

4 雇い人 13 駄賃 22 併記 30 失墜

5 艶 (訓読み) 14 旦那様 23 募金 31 乳飲み子

6 溺愛 15 靴 (訓読み) 24 珠玉 32 小字

7 結わえる 16 慕う 25 補佐 33 氏神様

8 穴熊 17 麻痺 26 模倣 34 故あって

9 畜生 18 崇拜

靴
 一ササ昔
 革靴 靴 靴
 13画
靴

語句

次の語句について調べなさい。

□は語句の意味 □は類義語 □は句文作り

1 わびしい 意

2 込み上げ 意

□残り物だけのわびしい在りし

□形などか

澄んだ鏡と静かな水のように、くもりのないすがすがしい心境。



情景や人物の描写から、心情や作者の意図を読み取る

A 「私」の目撃した故郷の姿を捉える 初め〜107③

1 106⑥「ああ、これが二十年来、片時も忘れることのなかった故郷であろうか。」について、次の問いに答えなさい。

(1) 故郷はどんな様子でしたか。それを描いている部分を、文章から三十九字で探し、初めと終わりの五字を書き抜きなさい。(句読点を含む。)

(2) (1)の故郷を見たとき、「私」は、どんな気持ちになりましたか。それがわかる一文を、文章中から書き抜きなさい。

2 106⑩「自分の心境が変わっただけだ。」とありますが、どういうことですか。□に当てはまる言葉を、文章中の言葉をもとにして書きなさい。また、「□」に当てはまる言葉を、後から選びなさい。

今度の帰郷は、 ためのものだから、もともと「□」気持ちだったということ。

- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| ア 沈んだ | イ 浮かれた | ウ はやる | エ あせる |
|-------|--------|-------|-------|

17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3				
117⑥	116②	116⑯	116⑪	116①	114⑯	114⑨	113③	113②	112①	113①	111⑩	108⑭	107⑨	106⑩				
の な い	と り と め	か っ て	寄 っ た	境 遇	物 騒	は に か む	し い	う や う や	思 案	冷 笑	嘲 る	蔑 む	不 服	る	こ と づ け	か た わ ら	い や る せ な	心 境
意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意	意
⑩優勝が決まったときの心境を聞いた。 ⑭あることをしている一方で。 ⑩先生への伝言を友人にことづけた。 ⑫納得できず、不満なこと。 ⑫失敗しても、蔑むような目で見てはいけない。 ⑫「知らない。」と言うと、嘲るような笑いを浮かべた。 ⑫僕のアイデアは、みんなに冷笑された。 ⑫思案の末、先生に相談することにした。 ⑫王様とうやうやくお辞儀をした。 ⑫妹ははにかんで、私の後ろに隠れてしまった。 ⑫犯罪の手口も増え、物騒な世の中になった。 ⑫つらい境遇を乗り越えて成功した。 ⑫寄ってたかって人を責めてはならない。 ⑫秋の夜長は、とりとめのない話をして過ぎた。																		

四字熟語 白紙白紙 = 自分てなった縛て自分を縛るとい意味。自分の言動によって、自分自身の動きがとれなくなること。

B 母や甥（ホシル）との対面の状況を捉える

107 読み

1 「私」の家が没落したことを、擬人法を用いて象徴的に表している一文を教科書107ページから探し、初めの六字を書き抜きなさい。

Blank box for writing the first six characters of the text.

2 107 母は機嫌よかったが、さすがにやるせない表情は隠し切れなかった。」とありますが、母が①「機嫌よかった」理由と、②「やるせない表情」だった理由を、それぞれ次から選びなさい。

- ① () ② ()

- ア 久しぶりに「私」が帰ってきたから。
イ 親戚が引越してしまってしまったから。
ウ ホンルがともかわいらしいから。
エ 異郷の地へ引越すのがつらいから。
オ 引越しの準備で疲れているから。

C 思い出の中のルントウ（雷主）の姿を捉える

1 108 ①「私の脳裏に不思議な画面が繰り広げられた」とありますが、それはどんな「画面」ですか。次から一つ選びなさい。

- ア 少年の頃、「私」がルントウに話した空想の画面。
イ 少年の頃、「私」がルントウとすいか番をした画面。
ウ 少年の頃、「私」がルントウと遊んだときの画面。
エ 少年の頃、「私」がルントウから聞いた話の画面。

18 胸をつか 文

激しく心を動かされる。

19 名残惜し 意

この町から離れるのは名残惜しい。

20 気がめい 意

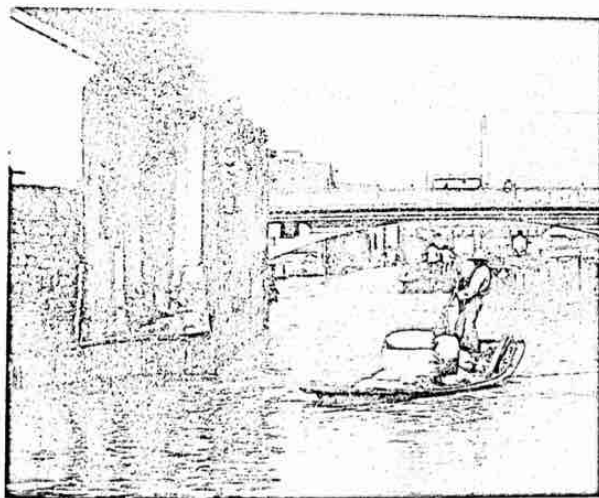
雨降りが続いて、気がめいる。

21 打ちひし 意

失敗に打ちひしがれている友人に声をかけた。

22 野放図 意

一人でも野放図な暮らしはしない。



紹興の運河を行く船



魯迅の旧居

2 109 ①「来る日も来る日も新年が待ち遠しかった。」とありますが、なぜ待ち遠しかったのですか。文章中の言葉を使って、簡潔に書きなさい。

（四字熟語）イ休イ休一眠ったり休んだりせずに、物事をやり遂げようとする事。

3 少年の頃の「私」は、ルントウからどんな話を聞きましたか。順番に四つまとめなさい。

①

②

③

④

4 111⑤「ああ、ルントウの心は神秘の宝庫で、……四角な空を眺めているだけなのだ。」とありますが、ここから「私」のルントウに対するどんな気持ちがわかりますか。次から一つ選びなさい。

- ア 同情
- イ ひがみ
- ウ 優越感
- エ 憧れ

5 111⑥「惜しくも正月は過ぎて、ルントウは家へ帰らねばならなかった。」とありますが、このときに表れた「私」とルントウの強い心の結びつきを示す連続した二文を探し、初めと終わりの五字を書き抜きなさい。(句読点を含む。)

D ヤン(楊) おばさんの人物像を捉える

1 111⑫「この子供の頃の思い出」がよみがえった「私」は、どんな思いを抱きましたか。文章中から十字で書き抜きなさい。

2 ①「私」が子供の頃、112④「ヤン(楊)おばさん」はなんとよばれていましたか。また、②現在のヤンおばさんを「私」はなんとよんでいますか。それぞれ文章中から五字以内で書き抜きなさい。

①

3 113①「蔑むような表情」とありますが、この表情に表れたヤンおばさんの気持ちとして適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 豆腐屋小町とよばれた私を見忘れるなんて許せない。
- イ あのかわいかった子がこんなおじさんになるなんて。
- ウ あの頃はまだ小さな子供だったのだからしかたない。
- エ なんでも忘れてしまって、なんて物覚えの悪い人だ。

4 ヤンおばさんは、「私」の家から出ていくときに何をしましたか。簡潔に書きなさい。

5 ヤンおばさんは、どんな人物として描かれていますか。次から一つ選びなさい。

- ア 「私」が忘れているのをいいことに、あることないことで昔を飾る、見栄っ張りな人物。
- イ 昔の「私」を懐かしみ、「私」が変わったことを気づかせてくれる、根は優しい人物。
- ウ 自分の境遇を嘆きながら、ひがんだものの見方をし、人を嘲るような態度を取る人物。
- エ 「私」のうそを見破って、真実を追及しないではいられない、他人に厳しい人物。



▲纏足 足が手と同じくらいの大きさしかない。

「私」の心情を捉える

1 「そのルントウは、私の記憶にあるルントウとは似もつかなかった。」とありますが、ルントウはどのように変わっていたのですか。文章中の言葉を書きなさい。

			記憶の中のルントウ
顔	目	手	現在のルントウ
のいい のいい	周りが はれている。	した手。 のいい、丸々	が置まれている。 だ色で、深い
うな手。 割れた、 の幹のよ	節くれだった、しかも		

2 「チアオチー、跳ね魚、貝殻、チャー……。」とありますが、「私」はルントウに何を言いたかったのですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 昔の美しい思い出につながる話。
- イ あれから今までの半生の物語。
- ウ 昔とは変わっている今の生活。
- エ 昔聞いた不思議な物語の真偽。



▲跳ね魚 潮が引いた干潟の上で生活する魚の一種と思われる。写真はムツゴロウ。

3 「だが、それらは……口からは出なかった。」とありますが、「私」が口をきけなかったのはなぜですか。考えて、簡潔に書きなさい。

4 「喜びと寂しさの色」とありますが、①どんなことへの「喜び」と、②「寂しさ」ですか。それぞれ簡潔に書きなさい。

- ①
- ②

5 「旦那様！……。」というルントウの言葉を聞いて、「私」が「身震いした」のはなぜですか。次から一つ選びなさい。

- ア あのルントウが今の自分を見分けられないのだと思ったから。
- イ 子供の頃憧れていたルントウの態度がすっかり変わったから。
- ウ ルントウがへつらうふりをして皮肉を言ったのに驚いたから。
- エ ルントウが自分の名前を忘れてしまったのだと思ったから。

6 「悲しむべき厚い壁」とありますが、これは何をたとえたものですか。考えて、簡潔に書きなさい。

7 ルントウの息子の「シュイション(水生)」のことをたとえて、なんと表現していますか。文章中から九字で書き抜きなさい。

8 115 ⑧「まあ、なんだったって……」という母の言葉から、①昔の二人の関係を表す言葉と、②現在の二人の状態を表す言葉を、それぞれ四字で書き抜きなさい。

①

②

9 116 ⑨「母と私とは彼の境遇を思つてため息をついた。」とありますが、(1) どんな境遇ですか。ルントウを苦しめるものとして適切でないものを、次から二つ選びなさい。

- ア 社会の仕組み
- イ 子供が多いこと
- ウ 大地震
- エ 極端な不作
- オ 悪政
- カ 治安の悪さ
- キ 環境破壊
- ク 重税

(2) (1)のようなものが、ルントウをどんな人間にしてみましたか。文章の中から十一字で書き抜きなさい。

F 「私」の心情を捉え、主題を考へる

1 118 ①「私も、私の母も、はつと胸をつかれた。」とありますが、なぜ「胸をつかれた」のですか。文章中の言葉を書きなさい。

昔の「」が を慕ったように、ホンルは を慕っているが、彼らもいつか現在の「私」と のようになってしまふのではないかと思ったから。

2 118 ⑩「古い家はますます遠くなり、故郷の山や水もますます遠くなる。」とありますが、この情景描写にはどんなことが反映されていますか。次から一つ選びなさい。

- ア 一刻も早く故郷を離れたいという思いが非常に強いこと。
- イ 故郷を離れる悲しみや寂しさがどんどんつよくなること。
- ウ 故郷が気持ちのうえでも遠いものになってしまったこと。
- エ 新しい生活に対する期待がだんだん高まってくること。

3 118 ⑪「せめて彼らだけは、私と違って、互いに隔絶することのないように……」とありますが、①「彼ら」とは具体的には誰と誰を指し、また、②広い意味では何を指していますか。文章中の言葉を書きなさい。

① と

②

4 119 ⑫「彼らは新しい生活をもたなくてはならない。私たちの経験しなかつた新しい生活を。」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「私たち」の生活とはどんなものだったのですか。文章中の言葉を書きなさい。

A むだの で 生活。

B 打ちひしがれて が麻痺する生活。

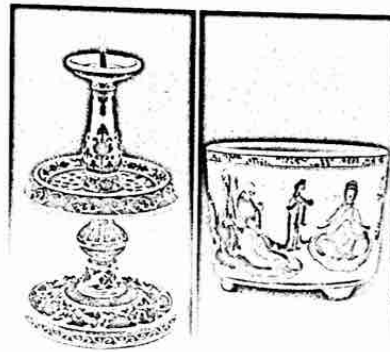
C やけを起こして 生活。

(2) (1)のA～Cには誰が当てはまりますか。文章中から書き抜きなさい。

C ⋮	A ⋮	B ⋮
--------	--------	--------

5 「手製の偶像」とは、どういう意味ですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア すぐにだめになってしまふ、むなしくはかないもの。
- イ 本当は違うのに、信じているふりをしているもの。
- ウ 希望をかなえるために、信じる力を与えてくれるもの。
- エ 一人でむやみに、価値があると信じ込んでいるもの。



▲魯迅の時代の香炉(右)と燭台(左)

読解UP

6 119「それは地上の道のようなものである。」とありますが、119「希望」のどんなどころが「道のように」だといふのですか。四十字以内で書きなさい。

書くアドバンス 自分の考えをもとに!

「故郷」を読んで、あなたは社会や人と人との関わりについてどのように考えましたか。次の条件に従って書きなさい。

- 条件 1 作品の内容を踏まえ、あなたの考えを書くこと。
- 条件 2 「希望」という言葉を使うこと。
- 条件 3 原稿用紙の使い方に従って、百五十文字以上、二百文字以内で書くこと。

119 故郷 1 2 3

自分で自分のしたことをほめること。

人物の描写を押しさえ、「私」の心情をまとめる

「故郷」の展開を、場面ごとに次のようにまとめました。文章中の言葉を書きなさい。

故郷を離れる	ルントウとの再会	ヤンおぼさんとの再会	ルントウの思い出	母や甥との対面	帰郷	場面
117⑧～ 終わり	113⑯～117⑦	111⑫～ 113⑱	108①～ 111⑪	107④～ ⑳	初め～ 107③	
<ul style="list-style-type: none"> 故郷がどんどん遠くなっていく。 <p>▼「私」の心情を暗示</p> <p>を慕うホルルの言葉に、はっと胸をつかれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> うやうやしい態度で、「私」は 「私」は <p>↓「私」は</p> <p>したらしかった。</p> <p>うやうやしい態度で、「私」は</p> <p>！……。」と呼びかけるルントウ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「私」が見忘れたことが 「忘れたのかい。なにしろ身分のあるお方は目が上を向いているからね……。」 <p>で、</p> <p>ような表情を見せる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 雪の日の小鳥捕り、夏の貝殻拾い、すいか番、跳ね魚などの話をするルントウ。 ルントウの心は <p>↓ルントウの心は</p> <p>強い憧れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 母の <p>表情は隠し切れない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ああ、これが もともと故郷はこんなふうなのだ。 <p>年来、片時も忘れることのなかった故郷であるうか。</p>	<p>人物の言動</p>
<ul style="list-style-type: none"> 若い世代に「 <p>を託す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 悲しむべき 悲しむべき <p>▼身分や境遇の違い</p> <p>が二人を隔</p> <p>ててしまった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 非難され、 事ができない。 <p>して返</p>	<ul style="list-style-type: none"> 故郷を見た思い。 <p>▼再会への期待</p>		<ul style="list-style-type: none"> が胸に込み上げる <p>▼故郷に別れを告げるつらさが、自分の心境が変わっただけと思ひ直す。</p>	<p>現在の「私」の心情</p>

君待つこと

「万葉・古今・新古今」

この歌の和歌集に依り、どんな人の
 の、どんな思いが、どんな表現
 で歌われているだろうか、それを
 和歌集の特色を踏まえながら、
 昔の人の心や情景を想像して
 みよう。



額田王（「飛鳥の春の額田王」 安田毅彦）

⑤ いにしえの心と語らう

確認する

全文を読んで、確かめる

① 三つの和歌集の①成立時期、②特色を、「出典」からまとめなさい。

万葉集

①

② 広い階層の人々の
 な感動が、力強く歌われている。

古今和歌集

①

② 表現に
 を凝らした
 な歌が多い。

新古今和歌集

①

② 自然美や繊細な感情を、
 に表現している歌が多い。

漢字

次の漢字の読み方を書きなさい。（○は新出音訓）

1 139 題

古 今

2 139 ③

衣（訓読み） 3 140 ④

貴 い

4 141 ⑤

頭 文字

語句

次の語句について調べなさい。（○は語句の意味 ㊦は短文作り）

1 139 脚注

叙景歌 ㊦

㊦ 故郷を思い浮かべて叙景歌を作る。

2 139 脚注

叙情歌 ㊦

㊦ 春の訪れを叙情歌にする。

3 140 ⑥

神々しい ㊦

㊦ 深い山の静けさを神々しく感じる。

4 140 脚注

たわむれ ㊦

㊦ 冗談。いたずら。

5 142 脚注

歌合 ㊦

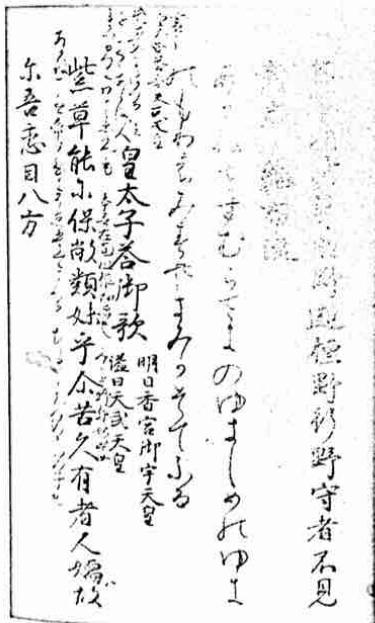
㊦ 市内のイベントで歌合が行われた。

6 143 出典

勅命 ㊦

㊦ 勅命により、京都に駆けつける。

4 万葉集の写本（三元暦校本万葉集） 東京国立博物館所蔵



▲ 日本書紀（皇極經世） 斎宮歴史博物館蔵

禪宗で、悟りの極意を伝えるのに心から心へ伝えたことから、口で言わなくても気持ちか

1 『万葉集』の歌の特色を捉える

初め

139 ③「春過ぎて……」について、次の問いに答えなさい。

(1) この歌を前半と後半に分け、後半の初めの句を書きなさい。

(2) 前半と後半には、それぞれ何が歌

われていますか。適切なものを、次から一つずつ選びなさい。

前半() 後半()

ア 目前に見ている風景。

イ 人から聞いたこと。

ウ 想像で描いた風景。

エ 作者がそのとき感じたこと。

(3) 香具山に真っ白な衣が干してある

光景から、作者はどんなことに気づきましたか。簡潔に書きなさい。



藤原京復元模型と天香具山

(模型は橿原市教育委員会所蔵)

2

139 ④「東の……」について、次の問いに答えなさい。

(1) 一日のうちの、いつの情景が歌われていますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

ア 日の出直前

イ 朝

ウ 日没直前

エ 夜

(2) (1)は、歌のどの言葉からわかりますか。書き抜きなさい。

□

(3) 「かへり見すれば」とあり

ますが、振り返って見るとどんな風景が見えましたか。簡潔に書きなさい。

(4) この歌から、どんな印象を受けますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

次から一つ選びなさい。

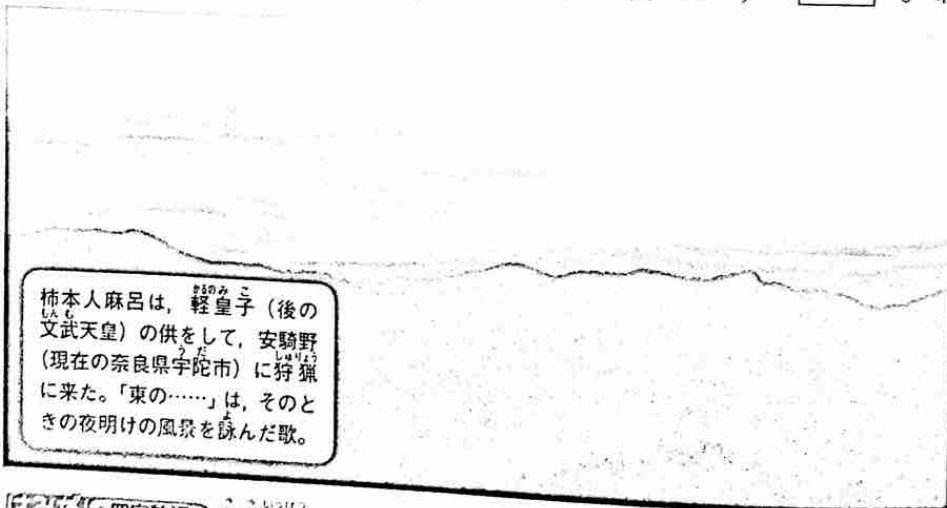
()

ア 繊細な印象

イ 勇壮な印象

ウ 雄大な印象

エ 寂しい印象



安騎野の夜明け

柿本人麻呂は、軽皇子(後の文武天皇)の供をして、安騎野(現在の奈良県宇陀市)に狩猟に来た。「東の……」は、そのときの夜明けの風景を詠んだ歌。

3

139 ①「君待つと……」について、次の問いに答えなさい。

- (1) 「君待つと我が恋ひ居れば」とありますが、作者はどんな思いでいたのですか。現代語訳の言葉を書きなさい。

あなたの

[]

を待って、

[]

思っていた。

- (2) 「すだれ動かし」とありますが、すだれを動かしたのはなんてしたか。

[]

- (3) この歌には、作者のどんな思いが表されていますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

()

- ア 恋しい人が二度と来ないことを恨んでいる。
- イ 恋しい人が訪れることを心待ちにしている。
- ウ 恋しい人が帰ってしまったことを嘆いている。
- エ 恋しい人を失ってしまったことを悲しんでいる。



▲額田王 (大亦観風『万葉集画撰』奈良県立万葉文化館所蔵)

4

140 ②「天地の……」について、次の問いに答えなさい。

- (1) この歌のような和歌の形式をなんといいですか。欄外の注から二字で書き抜きなさい。

[]

- (2) 「富士の高嶺」はどんな様子だと歌われていますか。様子を表す言葉を、歌の中から四字で二つ書き抜きなさい。

[]	[]
[]	[]
[]	[]
[]	[]

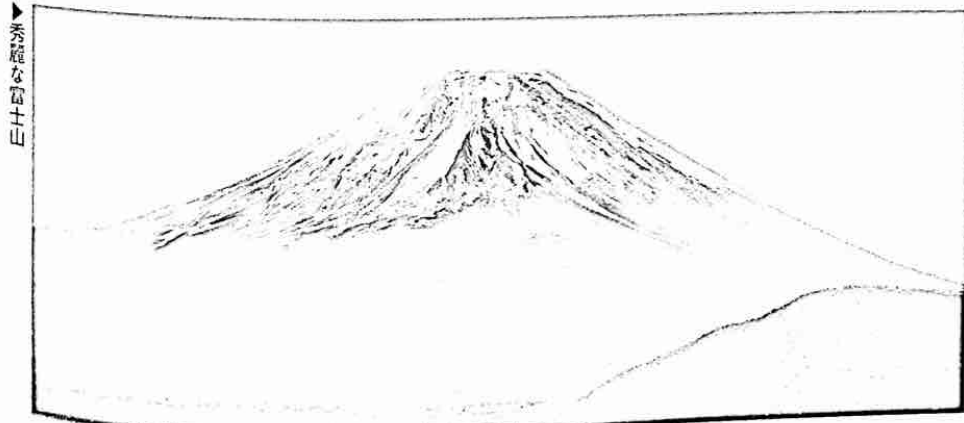
- (3) 「渡る日の 影も隠らひ」と対句になっている部分を書き抜きなさい。

- (4) 「語り継ぎ 言ひ継ぎ行かむ」とありますが、なんの、どんな様子を語り継いでいこうと歌っていますか。簡潔に書きなさい。

[]

[]

[]



▲秀麗な富士山

5

140 ⑩「田子の浦ゆ……」について、次の問いに答えなさい。

(1) この歌のように、長歌の後に添えられて、長歌の意味を補足する歌をなんといいますか。二字で書き抜きなさい。

(2) 「田子の浦ゆ」の「ゆ」の意味を、現代語訳から書き抜きなさい。

(3) 「真白にそ」とありますが、「真白」なのはどこですか。歌の中から五字で書き抜きなさい。

(4) この歌は、長歌「天地の……」に対して、どのように富士を詠んだ歌だといえますか。次の文に当てはまる言葉を、後からそれぞれ選んで書きなさい。

信仰の対象である富士の山をやや
に歌つ
た長歌に対して、「田子の浦ゆ……」
は、
富士山を詠んだ歌である。

写实的 観念的




▲山部赤人(土佐光起画 斎宮歴史博物館所蔵)

6

140 ⑪「憶良らは……」について、次の問いに答えなさい。

(1) この歌は、どんな状況で詠んだものですか。欄外の注の言葉を書きなさい。

作者が、宴会から
に詠んだもの。
するとき、

(2) 「今は罷らむ」とありますが、作者はなぜ退出すると言っているのですか。理由を二つ書きなさい。

(3) この歌から感じられる作者の感情として適切なものを、次から二つ選びなさい。

- ア 家族への強い義務感。
- イ 家族への温かい愛情。
- ウ 家族に対する希望。
- エ 生活への深い疲労感。



▲奈良時代の頃の下級役人の食事
主食は玄米で、おかずにいわしの煮付け、かぶの酢の物、みそ汁、きゅうりの塩づけがある。お酒と、調味料としての塩も添えられている。(奈良文化財研究所所蔵)



▲山上憶良と家族(安田鞆彦「憶良の家」)

四字熟語 美辭麗句=美しく飾り立てた言葉。

7

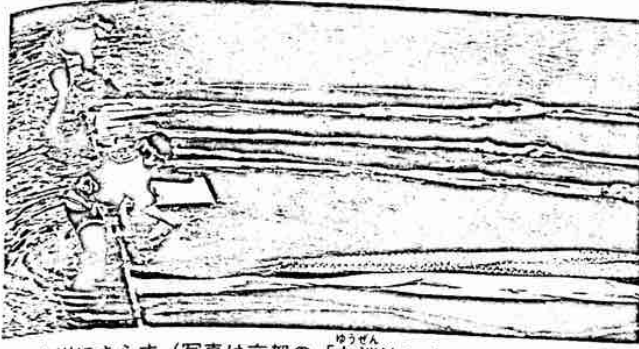
141 ②「多摩川に……」について、次の問いに答えなさい。

- (1) 「多摩川にさらす手作り」とは、どんな様子ですか。現代語訳の言葉を書きなさい。

て、手織りの _____ をさらす様子。

- (2) 「多摩川にさらす手作り」は、下の「さらさら」を導き出す働きをもつ言葉です。このような言葉をなんといいいますか。教科書145ページから探して、漢字二字で書きなさい。

- (3) 「何そこの児のここだ愛しき」の意味を、現代語訳から書き抜きなさい。



▲布を川にさらす (写真は京都の「友禅流し」)



▲多摩川の上流と、万葉集の歌が刻まれた「玉川碑」(伊豆美神社)

8

141 ⑥「父母が……」について、次の問いに答えなさい。

- (1) この歌は、主に東国地方から徴集され、九州地方の守備にあたった兵士が詠んだ歌です。このような歌をなんといいいますか。漢字三字で書き抜きなさい。

- (2) この歌は、「父母」が作者に何をしたときのことを歌っていますか。

- (3) (2)のことは、どんな状況でなされたのですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

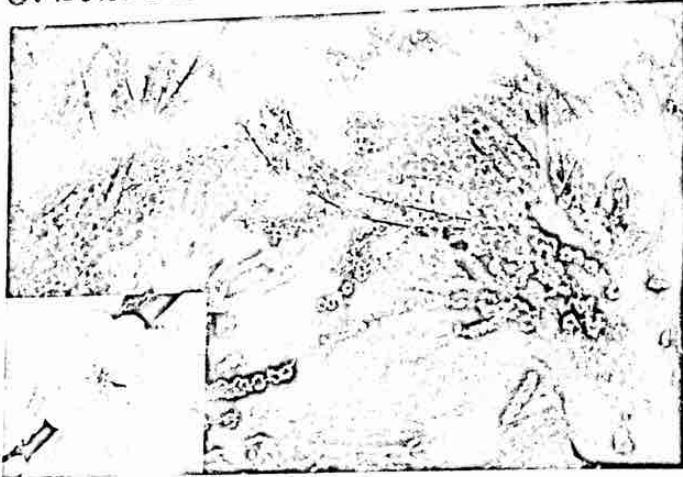
- ア 防人として、これから故郷を離れるとき。
- イ 防人の務めを終えて故郷に帰ってきたとき。
- ウ 防人として今から旅立つ父を見送るとき。
- エ 防人の務めを終えた父が帰ってきたとき。

- (4) この歌は、誰のどんな気持ちを歌っていますか。簡潔に書きなさい。

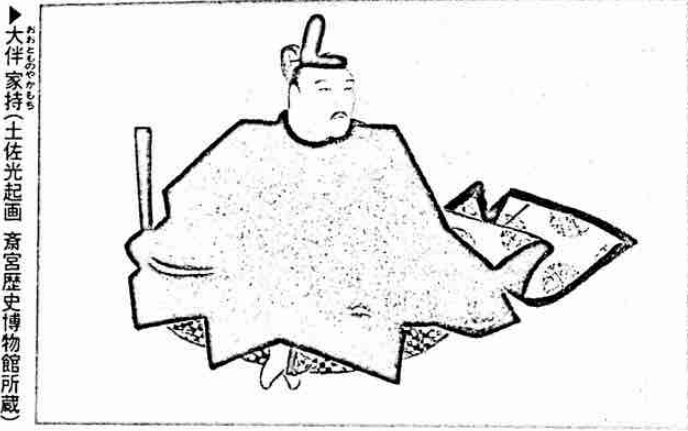


▲戦国時代の兵士の姿を再現したもの(皇自文化財研究所所蔵)

どんなに時が移っても、永久に変わらないこと。



▲咲き誇る桃の並木と桃の花



▶大伴家持(土佐光起画 斎宮歴史博物館所蔵)

9 「いにしへの春の園……」について、次の問いに答えなさい。
 (1) 「にほふ」の意味を、欄外の注から書き抜きなさい。

(2) 「下照る道」とありますが、どういう情景を表していますか。次から一つ選びなさい。

- ア 春の日が差し、道の上に強く照りつけている情景。
- イ 桃の花の色が、下の池に美しく映っている情景。
- ウ 桃の木の葉の隙間を通して、日が差している情景。
- エ 桃の花の色で、辺りが美しく照り映えている情景。

B 「古今和歌集」の歌の特色を捉える

142 ③「人はいき……」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「ふるさと」は、ここではどんな意味ですか。現代語訳から書き抜きなさい。

(2) この歌は、二つのものを対比的に描いています。①昔のまま変わらないものはなんですか。②どう変わったかわからないものはなんですか。

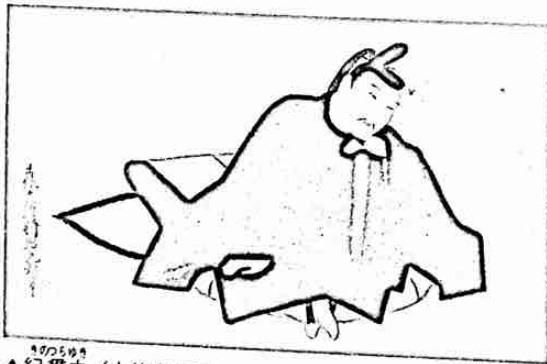
①

②

(3) この歌で、作者はどんなことをいっていますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア なつかしい土地も、人の心も、変わってしまうものだ。
- イ 変わらない自然に対して、人の心は変わりやすいものだ。
- ウ 変わらない自然のように、人の心も実は変わらないものだ。
- エ 変わらないように見える自然も、実は人の心と同じなのだ。

(4) この歌の句切れを答えなさい。



▲紀貫之(土佐光起画 斎宮歴史博物館所蔵)

四字熟語 抱腹絶倒 = 腹を抱えて倒れるほど、大笑いすること。

2 142 ㉞ 「秋来ぬと……」について、次の問いに答えなさい。

(1) この歌は、どんな日に詠んだもので
すか。欄外の注を読んで答えなさい。

(2) この歌では、二つの感覚上の印象が
対比されています。「視覚」と対比され
ているのはなんですか。次から一つ選
びなさい。

- ア 味覚 イ 聴覚
- ウ 触覚 エ 嗅覚

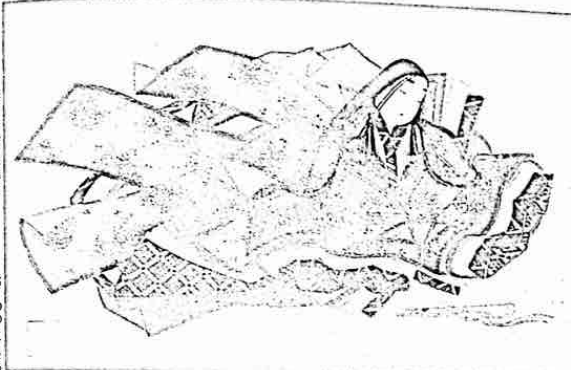
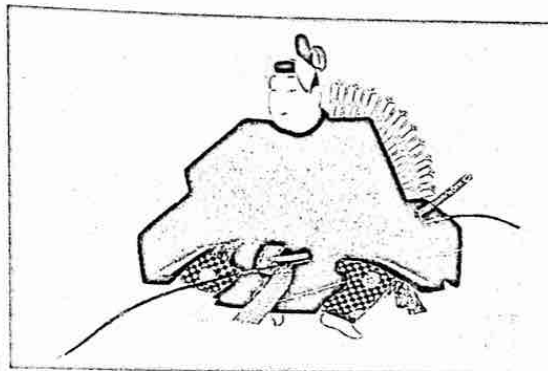
(3) この歌の特色の説明として適切なもの
を、次から一つ選びなさい。

ア 目に見えないものによって秋の
到来を知るといふ繊細な感覚が歌
われている。

イ 突然の天候の変化に対する驚き
が、鋭い感覚の対比によって歌わ
れている。

ウ 涼しい季節の到来を待ち望む気
持ちと、やっと来たという喜びが
描かれている。

エ 行く季節を惜しむ気持ちだが、季
節の変化を感じ取る繊細な感覚で
描かれている。



▶(右) 藤原敏行(左) 小野小町
(いずれも土佐光起画 斎宮歴史博物館
所蔵)

3 142 ㉞ 「思ひつつ……」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「思ひつつ」とありますが、どんなことを思っていたのですか。
簡潔に書きなさい。

(2) 「人の見えつらむ」の「人」とは、どんな人ですか。適切なものを、
次から一つ選びなさい。

- ア 非常に親しい人。
- イ 遠方にいる親友。
- ウ 深く尊敬する人。
- エ とても恋しい人。

(3) 「覚めざらましを」には、どんな思いが込められていますか。簡
潔に書きなさい。

『新編 源氏物語』の歌の特色を捉える

143 「道の辺に……」について、次の問いに答えなさい。

(1) この歌は夏を詠んだものです。夏の季節感を表す言葉を二つ、歌
の中から書き抜きなさい。

(2) 「しばしとこそ」とありますが、ほんのしばらくとあって、次
際にはどうしたのですか。簡潔に書きなさい。

米の一粒一粒にも作った人のつらい苦勞があることから、こつこつと、なみなみてない苦勞



▲[上] 西行法師 [下] 藤原定家 (いずれも狩野洞雲「新三十六歌仙画帖」フェリス女学院大学所蔵)

- (3) この歌の感動の中心は、どんなところにありますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。
- ア 自分の意志の弱さ。 イ 辺りの風景の美しさ。
ウ 時間の経過の速さ。 エ 木陰の心地よさ。
- 2 ¹⁴³ ② 「見たせば……」について、次の問いに答えなさい。
- (1) この歌の中に、華やかで美しく、趣があるものとして登場するものを、二つ書き抜きなさい。

と

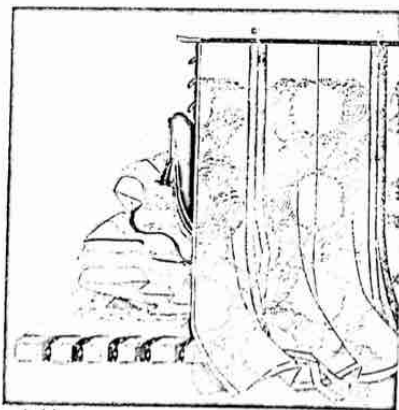
- (2) 「花も紅葉もなかりけり」とは、どんな情景を表していますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。
- ア 遮るものがない情景。 イ 華やかさが何もない情景。
ウ 目印が何もない情景。 エ 自然のものが全くない情景。

- (3) 作者は、どんなことへの感動を詠んでいますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。
- ア 花や紅葉はないが、秋の夕暮れが見せる華やかな趣。
イ 華やかなものが何一つない、おもしろ味の足りない風景。
ウ うらさびしい風景の中にある、華やかさは違う趣。
エ 貧しい生活がむきだして、趣からはかけ離れた風景。
- 3 ¹⁴⁴ ② 「玉の緒よ……」について、次の問いに答えなさい。
- (1) 「玉の緒」とはなんですか。現代語訳の言葉を書きなさい。

- (2) 「絶えなば絶えね」とは、どういう意味ですか。現代語訳の言葉を書きなさい。

私の

- (3) (2) のように思うのは、なぜですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。
- ア つのる恋心を、隠し切れなくなるかもしれないから。
イ いくら思い続けても、どうせかなわらない恋だから。
ウ 世間に知られて、とても生きてはられないから。
エ 思い続けることに、すっかり疲れてしまったから。



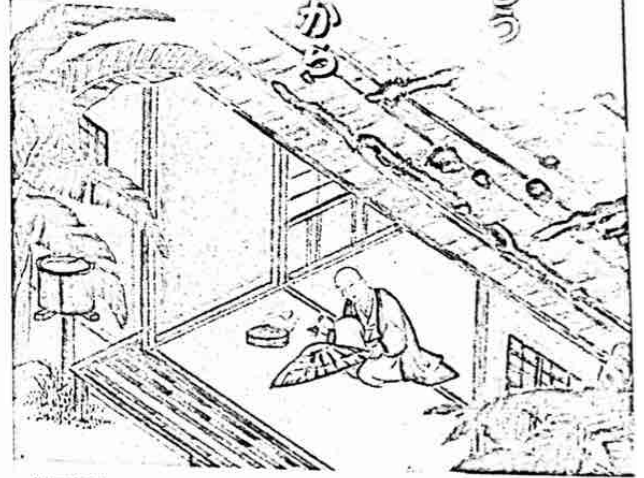
▲式内親王(狩野洞雲「新三十六歌仙画帖」)

夏草

5 いたしえの心と語らう

「おくのほそ道」から

「おくのほそ道」(徳川綱吉
三十四回まで)トル。百五十
回を超える大旅を記述した
奇文である。俳句と二体となっ
た文章を味わいながら、芭蕉の
ものの見方や感じ方を捉えよう。



狩野正栄画「芭蕉翁絵詞伝」義仲寺所蔵

確認する

全文を読んで、確かめる

1 「おくのほそ道」の①書かれた時代、②ジャンルを書きなさい。

①

時代

②

2 旅をしたのは、誰と誰ですか。

と

3 旅の行程を、「出典」からまとめなさい。

から、

・北陸を経て

(美濃国)

今の岐阜県の南部)まで。

漢字

次の漢字の読み方を書きなさい。(○は新出漢字)

1 別 荘

別 荘

別 荘 別 荘 別 荘 別 荘 別 荘

9画

別 荘

語句

次の語句について調べなさい。(意は語句の意味、意は短文作り)

1 くつわ 意

馬にくつわをはめる。

2 馬子 意

馬子にも衣装。

3 風雅 意

風雅の道を極める。

4 さすらう 意

世界中をさすらう旅に出たい。

5 あばらや 意

こんなあばらやによくいらっしやいました。

6 霞 意

春の野山に霞がかかっている。

7 手につかない 意

テレビがおもしろそうて、勉強が手につかない。

8 繕う 意

穴のあいた靴下を繕う。

9 功名 意

功名心にはやる若い武士。

10 朽ちる 意

古い家の柱が朽ちてきた。

11 凌ぐ 意

水を流して、岩を凌ぐ。

FRASING

作者のものの見方や感じ方を読み取る

A 芭蕉の旅への思いを捉える

初め、下

1 146上②「過客」と同じ意味の言葉を、原文中から漢字二字で書き抜きなさい。

2 146上②「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。」とありますが、ここから作者の歳月に対するどんな考え方がわかりますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

ア 歳月はどこかでとどまるということがなく、永遠に流れ続けるものである。

イ 歳月は一定の速さで流れていくが、その感じ方は人によって違うものである。

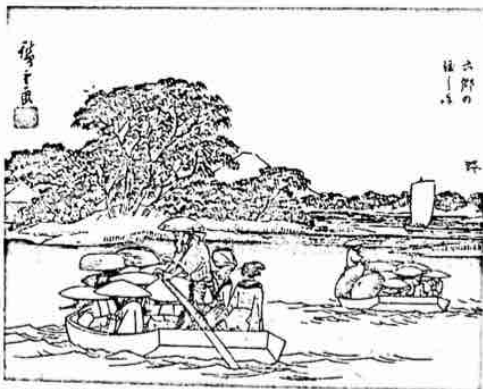
ウ 歳月は永遠に続くが、人に与えられた歳月はほんの一瞬にすぎないのである。

エ 歳月は意識しないうちに過ぎていくものであり、誰も逆らうことはできない。

3 146上②「月日は百代の過客にして」と対句的に表現されているのは、どの部分ですか。原文中から書き抜きなさい。



▲旅立つ芭蕉（与謝蕪村「奥の細道画卷」逸翁美術館所蔵）



▲船頭（歌川広重「東海道五十三次之内 川崎 六郷の渡し」静岡市東海道広重美術館所蔵）



▲馬子（歌川広重「東海道五十三次之内 平塚馬入川舟渡しの図」静岡市東海道広重美術館所蔵）

4 146上③「舟の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老いを迎ふる者」とありますが、船頭や馬子の生き方を、作者はどのように表現していますか。現代語訳の言葉を書きなさい。

毎日毎日が であって、 そのものを自分の

にしている。

5 146上④「古人も多く旅に死せるあり。」について、次の問いに答えなさい。
 (1) この文章の「古人」とは、どのような生き方をした人を指しますか。欄外の注から書き抜きなさい。

四字熟語 大器晩成 = 大きな器はすぐには完成しないことから、優れた才能をもった人は、慌てずゆっくり大成すること。

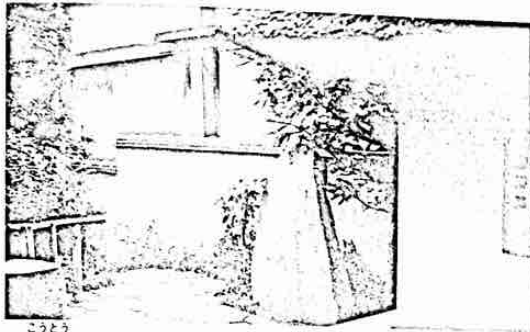
(2) この表現から、作者のどんな思いが感じられますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 古人のように、自分も生涯の大半をただ旅だけに過ごしたい。
- イ 古人のように、自分も死に場所というものは旅に求めたい。
- ウ 古人のように、自分も旅に過ごしながら風雅の道を究めたい。
- エ 古人のように、自分も困難な旅に挑戦してそこで死にたい。

(3) (2)のような思いがよく表れている部分を、原文中から八字で書き抜きなさい。

6 146上「予」とは誰のことですか。漢字四字で書きなさい。

7 146上「去年の秋」に帰ってきたとありますが、それまで、何をしていましたか。そのことがわかる部分を、原文中から八字で書き抜きなさい。



▲江東区芭蕉記念館 (東京都)

8 146上「江上の破屋」と同じものを表す言葉を、原文中から三つ、五字、三字、一字で書き抜きなさい。

--

9 作者は、今度の旅では、どんな状況の下で、どうしたいといっていますか。現代語訳の言葉を書きなさい。

を越えたい。



▲道祖神

10 147上「そぞろ神の物につきて心をくるはせ、……取るもの手につかず」とありますが、ここから作者のどんな思いがわかりますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 旅に出たいが、どうしていいかわからない思い。
- イ 旅に出たくてそわそわと落ち着かない思い。
- ウ 旅に出たいのに、忙しくて残念だという思い。
- エ 旅に出たいが、出ていいものか迷っている思い。



▲白河関跡



▲日本三景の1つとして知られる松島

四字熟語 天変地異 = 自然界に起こる異変。



道中笠のひも
 ◀ 芭蕉と曾良 (天理大学附属天理図書館所蔵)

道中笠

◀ 三里
 ここに灸をすえると、
 足を丈夫にし、また、
 万病に効くといわれる。

12

147上②「住めるかたは人に譲りて」とありますが、ここから作者のどんな気持ちがわかりますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 住み慣れた家を離れ、早く旅の気分になりたいという気持ち。
- イ いったん方角を変えて、道中の無事を祈りたいという気持ち。
- ウ いろんなことをしても費用を作り、長く旅に出たいという気持ち。
- エ 旅の途中で死んでもかまわないという、旅に対する強い気持ち。

11 作者は、旅の支度として何をしましたか。現代語で三つ書きなさい。

13

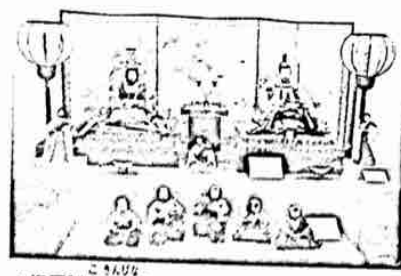
147上③「草の戸も……」の俳句について、次の問いに答えなさい。

- (1) ①季語、②季節、③切れ字を書きなさい。
 ① ② ③
- (2) 「草の戸」と対照的に用いられている言葉を書き抜きなさい。
- (3) この俳句には、作者のどんな感慨が歌われていますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

14

教科書146～147ページの文章全体から、作者のどんな考え方がわかりますか。現代語訳の言葉を書きなさい。

- は永遠に旅を続ける
- のようなものであり、去ってはやって来る
- もまた のようである。私も
- 生涯を の道にまかせ、旅に過ごそう。



▲江戸製古今雜 (江戸末期:日本玩具博物館所蔵)

芭蕉の人生観を捉える

150 終り切

150 ② 「三代の栄耀一睡のうちにして」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「三代の栄耀」とありますが、藤原三代の勢力が強く、屋敷も広がったことは、具体的にどの言葉からわかりますか。原文中から書き抜きなさい。

(2) 「三代の栄耀」は、「一睡のうち」にどうなったのですか。欄外の注を参考にして、簡潔に書きなさい。

2 150 ③ 「高館に登れば」とありますが、そこからどんな景色が見えましたか。原文中から、地形が具体的に書かれている部分の初めと終わりの五字を書き抜きなさい。(句読点を含む。)

3 150 ④ さても義臣すぐつてこの城に籠もり」とありますが、これは誰が、どうしたことをいっていますか。欄外の注の言葉を書きなさい。

源 [] が、 [] の臣をえりすぐつて、高館に立て籠もったこと。

4 150 ⑤ 「時のうつるまで涙を落としてはべりぬ。」とありますが、このとき、作者はどんな感慨を抱いていたのですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 藤原三代の旧跡が荒れ果ててしまって、残念だなあ。
- イ 義経最期の地に来ることができて、実に感激だなあ。
- ウ 人間の営みというのは、実際にはかないものだなあ。
- エ 戦をして殺し合うとは、人間は愚かなものだなあ。

5 150 ⑥ 「夏草や……」の俳句について、次の問いに答えなさい。

(1) ①季語、②季節、③切れ字を書きなさい。
[] ① [] ② [] ③

(2) この俳句と同じような感慨を表した部分を、原文中から十一字で書き抜きなさい。(句読点は含まない。)

① [] ② [] ③ []

(2) 「卯の花」から、何を連想していますか。欄外の注の言葉を書きなさい。
[] にもかかわらず [] する兼房の [] の頭。

7 151③「かねて耳驚かしたる二堂開帳す。」とありますが、「二堂」とは何と何ですか。原文中から書き抜きなさい。

と

8 151④「七宝散り失せて、玉の扉風に破れ、金の柱霜雪に朽ちて、既に頽廃空虚の草むらとなるべきを」とありますが、どんな意味ですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 光堂は、風や霜雪で朽ち果て何もかも草むらになるところを
- イ 光堂に収められた宝物が、全く価値を失うはずのところを
- ウ 藤原三代の居館はおろか、家宝も全て消えうせるところを
- エ 仏像だけが大事に守られて、いつまでも長く残るところを

9 151⑥「しばらく千歳の記念とはなれり。」とありますが、なぜそう言ったのですか。それがわかる部分を、原文中から書き抜きなさい。

10 151⑧「五月雨の……」の俳句について、次の問いに答えなさい。

- (1) ①季語、②季節、③切れ字を書きなさい。

① ② ③

(2) この俳句は、作者のどんなことに対する感動を歌っていますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

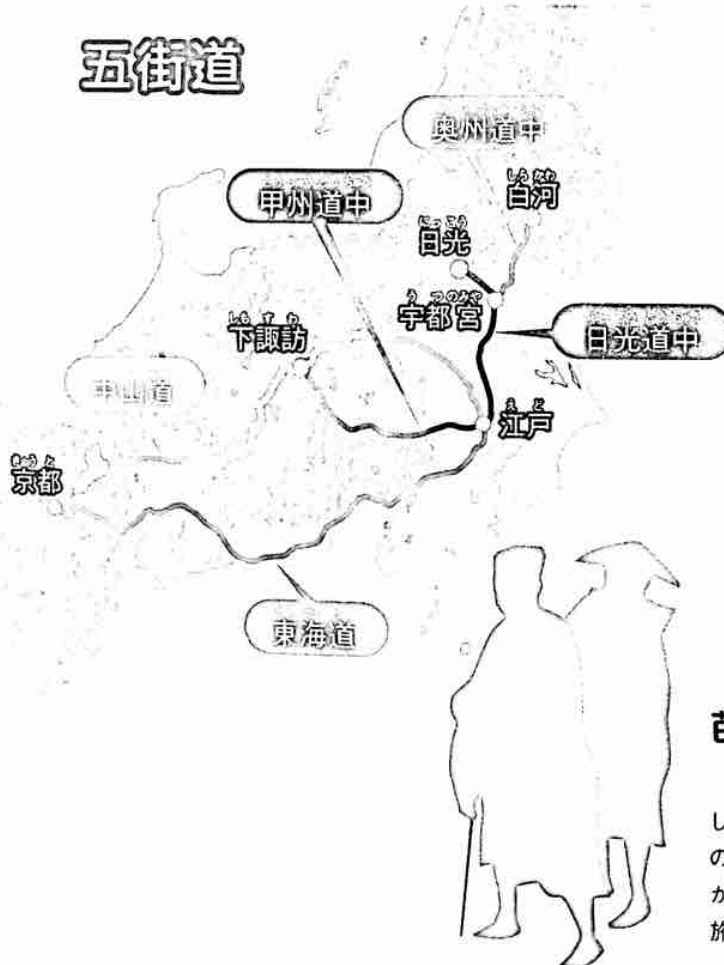
- ア 光堂に五月雨が降り注ぐさまが美しいこと。
- イ 光堂の宝物が、今なお多く保存されていること。
- ウ 光堂が、今なお美しい姿を残していること。
- エ 光堂が、風雨を受けない造りになっていること。

江戸時代の旅事情

江戸時代以前は、庶民には旅をする習慣がほとんどなかった。しかし、江戸時代になって世の中が平和になったことや、幕府が江戸を中心として地方に延びる五街道を整備し、各街道に宿場町を設けたことなどから、庶民の間にも旅をする習慣が広まった。特に、伊勢神宮に向かう「お伊勢参り」が流行し、街道は多くの旅人てにぎわった。

しかし、当時の旅は、現代の旅のように自由なものではなかった。幕府が各街道の要所に関所を設け、人々や物資の行き来を厳しく管理していたため、人々は旅の目的や身分が書かれた通行手形がなければ、関所を通ることができなかった。

五街道



芭蕉の旅の費用

芭蕉は、旅に出る前に住んでいた家を売っている。しかし、当時、家は高くなかったため、これだけで旅の費用をまかなうことはできない。芭蕉は、弟子たちからの寄付や旅の先々で行う句会による収入などを、旅の費用にあてていたのではないかと考えられている。

⑥ 論旨を捉えて

作られた「物語」を超えて

トランスジェンダーの行動を論議する視
 点ゴリラの、長い間、好戦的かつ
 凶暴な歴史の動物性と見なされて
 てきた。人間の論議が作り出す
 「物語」が動物をもたらししたの
 だ。物語の主張を踏まえ、人間
 や社会、自然について考えよう。



ゴリラの群れ (筆者撮影)

確認する

全文を読んで、確かめる

1 筆者は、どんな事例を挙げて論理を展開していますか。

ゴリラの、

[]

で立ち上がり、てのひらで交互に

[] を

たたく、

[]

とよばれる行動。

2 ゴリラを発見したヨーロッパの探検家たちは、『1』の行動をどのよ
うに解釈しましたか。

[]

を宣言している。

3 2のような人間の誤解に基づく自分勝手な解釈のことを、筆者は
なんと呼んでいますか。四字で書きなさい。(符号を含む。)

[]

漢字

次の漢字の読み方を書きなさい。(○は新出漢字 ○は新出音訓)

- | | | | | | | | | |
|-----------|---|-----------|---|-----------|---|-----------|---|---|
| 1
158⑩ | 銃 | 8
166 | 某 | 14
166 | 征 | 20
166 | 零 | 細 |
| 2
165 | 娯 | 9
166 | 媒 | 15
166 | 王 | 21
166 | 冠 | 歳 |
| 3
165 | 需 | 10
166 | 参 | 16
166 | 冥 | 22
166 | 福 | 石 |
| 4
165 | 儒 | 11
166 | 補 | 17
166 | 呪 | 23
166 | 文 | 新 |
| 5
165 | 哺 | 12
166 | 訃 | 18
166 | 嗅 | 24
166 | 覚 | 中 |
| 6
165 | 俳 | 13
166 | 煩 | 19
166 | 紛 | 25
166 | 若 | 輩 |
| 7
166 | 蜂 | | 蜜 | | | | | |

糾 糾 (コト)
 系 糾 紅 糾
 糾 (コト) 糾 (コト) 糾 (コト)
 9画
 糾 糾 (コト)
 糾 (コト)

語句

次の語句について調べなさい。

(○) は語句の意味 (□) は短文作り

- | | | |
|-----------|-----|---|
| 1
153④ | 凶暴 | □ |
| 2
158⑦ | 見なす | □ |
| 3
158③ | 解釈 | □ |
| 4
158⑥ | 格好 | □ |
| 5
158⑧ | 好戦的 | □ |
- 発音のない人は意見に賛成だと見なす
 □ 短歌を解釈する
 ○ 中学生に格好な百科事典
 □ 好戦的な態度をとる

同じくらい正しいといえる二つの原理が、矛盾・対立して両立しないこと。

A 文章の論理展開を捉える

158 ① 159 ②

1 158 ① 「私たちは、野生動物の行動を誤解することがよくある。」とありますが、人間の野生動物に対する「誤解」の例として、どんなことが挙げられていますか。文章中の言葉を書きなさい。

・ライオンやトラ……

な動物と見なす。

・キツネやタヌキ……

動物と見なす。

2 158 ② 「人間が彼らを追い詰めて敵対的な行動を取らせ、それを人間に都合がよいように解釈してきた」ことを、筆者はなんとたとえていますか。文章中から十字で書き抜きなさい。(符号を含む。)

B ゴリラの悲劇と人間の責任について捉える

158 ① 159 ②

1 159 ② 「私が研究しているゴリラはその格好の例である。」とありますが、どんなことについての例ですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

6 159 ③ 権化

☑ 悪の権化

7 159 ⑤ 勇壮

☑ 勇壮な楽曲を公てる

8 161 ③ 挑発

☑ 相手の挑発にのる

9 152 ① 蓄積

☑ データを蓄積する

10 162 ③ 脚色

☑ 史実に脚色して、小説にする

11 162 ① 増幅

☑ 彼に対する不信感が増幅する

12 162 ⑤ 真に受け

☑ 冗談を真に受ける

13 163 ② しいたげ

☑ 生き物をしいたげてはいけない

14 163 ③ 排除

☑ 有害物質を排除する



▲映画「キング・コング」のポスター。キング・コングは、文明社会で大暴れする怪物として描かれている。映画は空前の大ヒットとなった。

【四字熟語】海に千年、山に千年生きた蛇が竜になるという伝説から、経験を重ねて賢くなった人。

2 十九世紀中頃の¹⁵⁸⑦「ヨーロッパの探検家たち」が、ゴリラを¹⁵⁸⑧「とても凶暴で好戦的な動物」と見なしたのはなぜですか。その理由が書かれた一文を文章中から探し、初めの五字を書き抜きなさい。(読点を含む。)

3 探検家たちは¹⁵⁸⑨「ドラミングをするゴリラのオス」を見て、どうしましたか。文章中の言葉を使って書き抜きなさい。

4 ¹⁵⁹⑩「キング・コング」という映画が製作されて世界の人気」なることで、人々はますますゴリラをどんな存在と見るようになりましたか。文章中から十三字で書き抜きなさい。(読点を含む。)

5 ¹⁵⁹⑪「アフリカで野生のゴリラを研究するようになった」とありますが、ゴリラの研究を通して、どんなことがわかってきたのですか。文章中の言葉を書きなさい。

6 ¹⁵⁹⑫「ゴリラの群れ」は、どんな構成ですか。文章中の言葉を書きなさい。

十頭前後、
のオスを中心に、数頭のメスや子供たちが寄り集まってできている。

7 ¹⁵⁹⑬「どちらの群れからもシルバーバックが出てきて胸をたたき、……地面をたたき。」とありますが、こういうとき、オスたちはどんな行動をとりますか。文章中から書き抜きなさい。

8 この文章で挙げられている、ゴリラの「ドラミング」が起きるときの事例として当てはまるものを、全て選びなさい。

- ア 二つの群れが出会ったとき。
- イ 満腹になったとき。
- ウ みんなに出発の呼びかけをするとき。
- エ いがみ合っているゴリラたちを制止するとき。
- オ 不満を感じるとき。
- カ 他のゴリラに誘いかけるとき。
- キ 戦いを宣言するとき。



▲ゴリラのドラミング (著者撮影)

四字熟語 「深謀」は深く考えたばかりごと、「遠慮」は遠い将来まで見通した考え。将来のことまで深く考えて計画を立てること。

14

筆者は、世界各地で争いや衝突が絶えない理由をどう考えていますか。それが書かれた連続した二文を採し、初めの五字を書き抜きなさい。

Blank box for writing the first five characters of the first sentence.



▲ルワンダの難民キャンプ

(AFP時事)

15

162「人間の、自然や動物、そして人間自身を見る目がいかに誤解に満ちているか」とありますが、筆者は、これらの誤解を解くためには何が必要だと述べていますか。文章中から二つ採して書き抜きなさい。

Blank box for writing the first answer.

Blank box for writing the second answer.

Blank box for writing the third answer.

Blank box for writing the fourth answer.

Blank box for writing the fifth answer.

163

「ドラミングが戦いの宣言だという『物語』の誤解を超えた先」に広がっていたものについて、162「最初の話が誤解によって作られていると、……それが社会の常識になってしまう」こととあわせて次のようにまとめました。文章中の言葉を書き抜きなさい。

誤解によって作られた最初の話

Blank box for writing the first sentence from the text.

間違いと気づかず広がっていく

社会の常識

Blank box for writing the second sentence from the text.

相手の立場に立つ・実際の現象を観察

誤解を超えた先

の真実

Blank box for writing the third sentence from the text.

2 筆者が164「新しい世界と出会うための鍵」だと考えていることはどんなことですか。最も適切なものを次から一つ選びなさい。

ア 言葉の発明によって人間社会が飛躍的に発展し、多くの仲間と交流できる世界になったことを、常に頭に置いておくこと。

イ 地球上のさまざまな人々の文化や社会について知るために、積極的に現地を訪れて、最初の印象に基づいて解釈すること。

ウ 文化や社会の異なる人々と交流し、また、世界各地の紛争をしずめるために、自由自在に話せる外国語を身につけること。

エ さまざまな文化や社会の人々の立場に立って物事を考え、自分勝手な解釈を避けて常識を疑い、真実を知ろうとすること。

その場の成り行きに応じて、適切な手段をとること。

